

DP2X は、ファームウェアのバージョンアップ (ファームウェアバージョン 1.02) により、以下の機能が追加・変更となります。(ファームウェアバージョン 1.02 で追加された項目に (Ver.1.02) と記しています。)

セットアップメニューで表示される言語を追加 (Ver.1.02)

セットアップメニューで表示される言語を 7 言語追加しました。セットアップメニューの「言語 (Language)」の項目より、希望の言語を選択してください。

追加された言語：

オランダ語 (Nederlands)	デンマーク語 (Dansk)	ノルウェー語 (Norsk)	ポーランド語 (Polski)
スウェーデン語 (Svenska)	フィンランド語 (Suomi)	ポルトガル語 (Português)	

画質の設定に RAW+JPEG モードを追加

画質の設定に、RAW と JPEG の同時記録モードを追加しました。クイックセットメニュー (P.34)、もしくは「 撮影設定」(P.26) → 「画質」より、**RAW+JPG (RAW+JPEG)** を選択してください。

ご注意!!

- 同時記録の JPEG の画像サイズは **HI**、画質は **FINE** となります。
- 設定できる ISO 感度は 800 までとなります。
- ISO 感度を 1600 以上を設定していても、画質を **RAW+JPG** に変更すると ISO 感度が自動的に 800 に切り替わります。
- カラーモードの白黒とセピアは選択できません。
- カラーモードが白黒、もしくはセピアに設定されている時に、画質を **RAW+JPG** に変更すると、カラーモードが自動的に **STD.** (スタンダード) に切り替わります。
- 音声付静止画は設定できません。
- **RAW+JPG** で記録された画像に、音声メモを付けることはできません。
- **RAW+JPG** で記録された画像を削除する場合、RAW 画像、JPEG 画像共に消去されます。

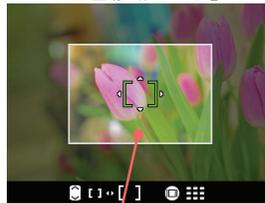
フォーカスフレーム (P.49) に関する機能を強化

9 個のフォーカスフレームから選択する「9 点選択モード」に加え、フォーカスフレームを任意の位置に細かく移動できる「自由移動モード」を追加しました。また、通常のフォーカスフレームよりも、狙ったポイントをより確実に測距することができる、ピンポイントフォーカスフレームを追加しました。

「9 点選択モード」



「自由移動モード」



フォーカスフレーム移動エリア



通常の
フォーカスフレーム



ピンポイント
フォーカスフレーム

設定方法：

 ボタンを押します。

-  ボタンを押すたびに、「9 点選択モード」と「自由移動モード」が切り替わります。
 - 「9 点選択モード」時は、 ボタンで任意のフォーカスフレームを選択します。
 - 「自由移動モード」時は、 ボタンで任意の位置にフォーカスフレームを移動します (フォーカスフレーム移動エリアの範囲内で移動できます)。
 -  ボタンを押すとピンポイントフォーカスフレームになり、 ボタンを押すと通常のフォーカスフレームになります。
-  ボタンを押して確定します。
- ピンポイントフォーカスフレームに設定している時は、ピント確認のための拡大表示 (P.50) の拡大率が、通常のフォーカスフレーム設定時の約 2 倍になります。